

平成 2 3 年度学校評価報告書

平成 2 4 年 3 月 2 1 日

北海道浜頓別高等学校長 田 村 二 郎

1 本年度の重点目標

- (1) 進んで学習に取り組む意欲・態度を培い、自ら学ぶ心の育成に努める。
- (2) 基本的生活習慣を身につけるとともに、奉仕の心の育成に努める。
- (3) 何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ、健康な心の育成に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	- 基礎基本の確実な定着を図るため、個に応じた指導の工夫・改善に努めるとともに、各種検定取得を活用している。 - 日常の授業において家庭学習を促す指導が、不十分である。	- 出口に強い浜高が最大の特徴なので今後も継続して、学力向上に取り組んで欲しい。 - 検定取得への取組を強化して、資格検定への取り組みを更に進めて欲しい。
改善方策	学習指導方法に関する研修を充実させる。週末課題など家庭学習を促進させる。	
進路指導	- 保護者向け説明会や個人面談を充実させ、さらに保護者との連携が必要である。 - 進路体験学習やインターンシップにより、キャリア教育が充実し、勤労観、職業観の育成や進路意識の高揚に繋がった。	- 進学実績は上昇してきているので、引き続き生徒の可能性をさらに伸ばして欲しい。 - 就職状況厳しい中、就職率は高く生徒の努力と継続的な指導が来ている。
改善方策	進路指導への広報活動を更に充実させる	進路実現に向けて講習を更に充実させる。
保護者・地域との連携	- P T A活動の活発化のために、工夫を凝らしたが、参加者増に繋がっていない。 - あらゆる機会を設け学校行事の広報活動の発信を心掛け、連携を強化すべきである。	- 小中高と、保護者、行政、地域が一体となった連携を進める必要がある。 - 浜頓別高校の良さを情報発信して、地域全体のから高校の評価を高める必要がある。
改善方策	さらに魅力ある取り組みを創意工夫する。	広報活動を工夫・充実させる。
公表方法	学校ホームページ、学校だより、学校評議委員会にて公表	